

「働き続ける！」女性のために  
～就業の場におけるハラスメント根絶に向けて～

日 時：2013年3月3日（日）  
午後1時30分～4時  
会 場：交流ラウンジ

女性たちが過ごしている就業の場では依然として、セクシュアル・ハラスメントの被害、未だ可視化されていないマタニティ・ハラスメントや女性であるという理由でのパワー・ハラスメント等が多数存在している現状もある。こうした状況から、被害当事者の救済にとどまり、組織的及び社会的にそれを根絶するアプローチが明確化していないことが課題となっている。シンポジウムでは、浅倉むつ子さんの基調講演、その後のパネル・ディスカッションでは、浅倉むつ子さん、大脇雅子さん、和田肇さんがパネリストを務め、就業の場における女性への暴力の実態を把握するとともに、女性が働き続けるための環境整備と暴力を根絶するための方策等について、参加者とともに考える機会を持つことができた。

## 基調講演

講師／浅倉むつ子（早稲田大学大学院教授）

## パネル・ディスカッション

パネリスト：浅倉むつ子（早稲田大学大学院教授）、和田 肇（名古屋大学大学院教授）、大脇雅子（弁護士、元参議院議員）コーディネーター：渋谷典子（NPO法人参画プラネット代表理事）

参加人数／45人（女性41人、男性4人）

参加費／500円

## ご意見ご感想をいただきました

- ・具体的な判決事例を用いての説明はとても分かりやすかったです。
- ・改めて「支えあい」「連帯」の精神、考え方をそれぞれの講師の方がお話しされ、実践に活かせる内容となつたと思います。
- ・事例に基づいた講演とパネル・ディスカッションでパワハラを身近な問題として考えることができました。
- ・この間自身で本を読んだり友人に話したり、これでよいのか、これは不利益かと思っていた事が各先生の話の中に出でて「よし！！」と思っています。公的な所にも相談していきます。次の人たちのためにも。
- ・裁判の話は、不断にはあまり聞ける機会がないので、とても勉強になりました。こんなに女性問題と根深くつながっているのだなと…。
- ・研究者の先生側からのお話、実務的な面からのお話、双方からの見解がうかがえて興味深かったです。
- ・3人のお話を伺いたくて参加しました。専門性を、よりよい社会のために活かそうとされていることに感銘を受けました。最後のメッセージに、大きなエネルギーを頂いた気持ちです。ありがとうございました。



## 国の基本計画 [第2分野]男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革

[第4分野]雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保 [第9分野]女性に対するあらゆる暴力の根絶

## 名古屋市の基本計画 [目標1]男女の人権の尊重 [目標4]雇用等における男女平等



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者

NPO法人参画プラネット